インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀サイド www.gaido.jp

vol.338・10月14日号 _{毎週木曜発行} 4面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927

- ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603

発行部数:100.000部



「ギャラリー有楽」は、焼き物の町 として有名な信楽で25年以上も 作家を応援してきた陶芸ギャラリー。 今回の「素敵な人」は、亡き夫の志 を継いで地域の人々の支援を得な がら奮闘する今井幹子さん(74)。

日本を代表する陶芸の町・信楽

太古の昔、信楽は琵琶湖の湖底だった といわれ、そのためか焼き物の原料の 陶土は質、量ともに全国的に評価が高い。 また、瀬戸や備前に並んで、日本六 古窯(※)の一つに数えられ、昔から 火鉢、つぼ、食器などの生活用品、 そして、近年ではタイルなどの生産 も行われている。



一方、桃山時代から千利休をはじめと する多くの茶人に愛され、「花入れ」「水 指」「茶わん」などの名品を育んできた。

「陶芸作家の手助けを」

今井さんは、夫妻で共に公務員だった。

●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

せられた

夫の治さんは京都工芸繊維大学出身で、 セラミックの仕事に携わり、工芸に 強い関心を持っていた。そんな経緯 もあって、日ごろから「**せっかく若い**

人が窯業を学んでも陶芸家に なるチャンスが少ない」と残 念がっていた。

ある日、今井さんに「陶芸の ギャラリーを開き、陶芸作家 を育てる手助けをしたい」と夢 を打ち明け、信楽焼と作家を 応援するような店を作った。

客や作家が支えに

幸い、県内外の焼き物愛好家に支えら れて店は順調に繁盛した。

しかし3年前、治さんが病気で急死し て、残された今井さんは失意のどん底 に落とされ、途方に暮れた。

治さんは生前、どちらかというと物事 に厳しいタイプの人だったが、亡くなっ

てみると「我々は有楽のオッサンに育 ててもろうた。これからもぜひ店を続 けてほしい」という声が周囲から聞こ えてきた。



さらに、店の手伝いをしてほしいと願っ ていた常連客の中島尚美さんが「私で 良ければ、お手伝いさせてください」と

申し出てくれた。

こうした熱い心に勇気付けられた今井 さんは徐々に元気を取り戻し、店を続 けていく気持ちを固めた。

動き出した人の輪…… 「主人は物事をはっきり言う人でした から若手作家には煙たい存在だったか も知れません。でも、潜在的な人の力 を信じる人でした」と、今井さんは振 り返る。

作家や客など多くの人の応援を受け、 今井さんは現在、中島さんと「秋の有 楽会」の準備に余念が無い。

(取材・福本) 詳しくは www.gaido.jp/3381

※日本六古窯…信楽(滋賀県)、丹波(兵庫県) 備前(岡山県)、瀬戸(愛知県) 常滑(愛知県)、越前(福井県)



第23回 有楽•作品展 ●会場:ギャラリー有楽

●時間:10:00~17:00 ※会期中無休

ギャラリー有楽

●甲賀市信楽町牧1795 ●TEL: 0748-83-0759 http://www.shigaraki-uraku.com







〒528-0035 甲賀市水口町名坂914番地の1 TEL.0748-63-1317 アイムの家 滋賀 人検 索 FAX.0748-63-6537

[E-mail] info@chance-housing.jp [URL] http://www.ch-housing.com